

# とうほうだい 授業だより 【特別編、プレゼントしたい詩】

11月22日、金曜日。ジングルベルの鈴の音とともに師走の足音が聞こえてきました。これから、ますます気忙しくなりますね。今回は、毎日、子育てにかんばっておられる方々への励ましの気持ちを込めて、文章と詩を紹介させていただきます。ぜひ読んでください。

親子の絆が希薄になってきたとされる昨今、「母の顔」という、次の詩を味わってみるのもいいかもしれません。

## 「母の顔」

お母さんの顔が見たくなった

お母さんの顔を とおいぬけと



本当のことがわかるように思えてならない

年齢に関係なく、だれでも優しいお母さん（お父さん）の顔に接すると心が慰められ、全てを包み込まれるような安心感を得ることができます。

お母さん（お父さん）は、子どもたちに「いい子になりなさい」「正しいことをしなさい」と愛情たっぷりに教えるを諭します。

そういうお母さん（お父さん）の教えるを超えて、その奥にある深い部分を感じ取っていく中で、自分が生きていく上で大切なものが与えられ、それが人生を切り開く力になる、というのがこの詩の意味です。

詩の3・4行目に『愛の本質』が隠されているように思います。